

平成29年度(第1-2四半期)
事業の報告書
(平成29年4月1日▶平成29年9月30日)



【表紙写真について】
平成26年に竣工した長尺レール輸送専用船 “PACIFIC SPIKE”
(載貨重量トン数24,041トン)

証券コード 9110



NSユナイテッド海運株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長

小島 徹

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

Q 当期の当社を取り巻く事業環境と連結業績を教えてください。

A 当第2四半期連結累計期間の売上高は677億20百万円、営業利益は38億32百万円、経常利益は31億18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億61百万円となりました。

当第2四半期累計期間における世界経済は、北朝鮮情勢をはじめとする地政学的緊張や世界的なリスク回避の志向が高まるなか、政策効果に支えられた中国経済の持ち直しや、資源価格の上昇、米企業による在庫調整の進展などを背景に緩やかに回復しました。外航海運事業のうちドライバルクにつきましては、前期より続く市況の緩やかな回復を受けて、散積船の解撤は徐々にスローダウンしたものの、新造船の供給圧力が抑えられたため、大型船型を中心

に船腹の需給バランスは改善に向かいました。ケープサイズ型散積船は、中国の旺盛な鉄鉱石需要を背景として複数の水域で需給が引き締まり、市況は堅調に推移しました。また、パナマックス型以下の中小型散積船は、中国による石炭輸入の増加や、南米東岸・米ガルフ・黒海など大西洋を中心に穀物輸送の需要が高まったことに加え、太平洋においても東南アジア積みのニッケル鉱石の荷動きが活発化したことにより、市況は堅調に推移しました。一方、タンカーにつきましては、高齢船解撤の機運は高まりつつも新造船の供給圧力に苦しむなかで、夏場の不需要期に差しかり、VLCC（大型原油タンカー）・VLGC（大型LPG運搬船）ともに市況は低迷しました。内航海運事業につきましては、度重なる台風の影響を受けながらも、各種荷動きが回復基調で推移したことから、ドライ貨物を中心に総じて安定した輸送量を確保しました。燃料油価格につきましては、当第2四半期連結累計期間の平均消費価格がトン当たり約334ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約103ドル上昇しました。また、対米ドル円相場は期中平均で111円と、期初の見込み105円と比べ6円安、前年同期比では4円17銭の円安となりました。

このような状況下、当社の連結業績は前年同期比で増収増益となり、経常損益と親会社株主に帰属する四半期純損益はともに黒字に転換しました。

Q 株主還元に対する考えを教えてください。

A 中間配当は見送らせていただきますが、連結業績に対する配当性向は概ね25%としております。

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた株主各位への利益還元を継続的に行うことを基本方針とし、連結業績に対する配当性向は概ね25%としております。当期の配当につきましては、為替や燃料油価格など外部環境の先行きが不透明なこともあり、通期決算時に判断することといたしたく、誠に遺憾ながら、第2四半期末における中間配当は見送らせていただきます。

Q 平成29年度の業績見通しについて教えてください。

A 第3四半期以降の前提条件として対米ドル円換算率は110円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり340ドルとし、連結業績予想は以下の表の通りとなっております。

平成30年3月期連結業績予想

■ 売上高	1,380億円 (前期比10.2%増)
■ 営業利益	76億円 (前期比15.9%増)
■ 経常利益	59億円 (前期比28.1%増)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	65億円 (前期比95.7%増)

Q 新中期経営計画『NSU2021』（平成29年4月～平成32年3月）の目標と重点戦略を教えてください。

A 今般、当社は平成29年度を初年度とする中期経営計画『NSU2021』を策定いたしました。為替や燃料油価格などの外部環境は先行き不透明な状況が続いていますが、今後の海運市況は緩やかながらも回復基調をたどるものとみられ、これまで培ってきた強固な事業基盤の下、「Next Stage after United for 2021」をスローガンに、以下に掲げる中期経営目標の達成に取り組んでまいります。

新中期経営計画のテーマ

NSU2021

2017年度～2019年度

NSU2021

Next Stage after United for 2021

目標と重点戦略

中期経営目標

2021年度連結営業利益120億円達成を視野に入れ、ドライバルクを中心に国内外の海上輸送ニーズを幅広くとらえ、さらなる付加価値の提供を通じて顧客とともに持続的発展を目指す。

4つの重点戦略

- ① 安定収益事業への経営資源の集中
- ② 輸送品質の向上
- ③ 環境保全への積極的な取り組み
- ④ 収益力の維持向上による安定配当の実現

事業別の概況

当第2四半期のポイント

- ・外航海運事業では売上高564億78百万円・営業利益33億10百万円、内航海運事業では売上高110億30百万円・営業利益5億37百万円となり、特に外航海運市況の回復により、連結業績は前年同期比で増収増益となりました。

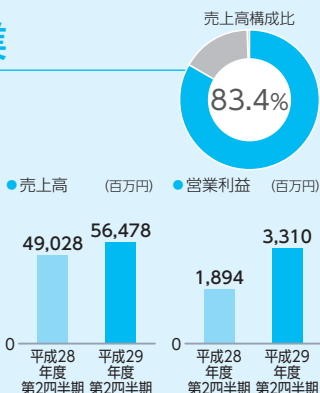
外航海運事業

■ 売上高

564億78百万円
(前期比 15.2%増)

■ 営業利益

33億10百万円
(前期比 74.8%増)



■ ケープ型撒積船

ケープ型撒積船市況は、主要5航路平均用船料率が春先から下落基調となり、7月には日額6千ドル台と低迷しましたが、8月以降、鉄鉱石価格の上昇や中国の旺盛な鉄鉱石需要を背景として、西豪州やブラジルのほか、アフリカやカナダなどでも出荷が増加したことで需給が引き締まり、2万ドル台前後の水準まで回復しました。このような状況下、主要荷主である新日鐵住金株式会社をはじめ、国内鉄鋼会社向けや海外顧客向けに中短期輸送契約を獲得するなど、国内外での営業活動を積極的に継続した結果、当初の計画を達成することが出来ました。

■ パナマックス型撒積船

パナマックス型撒積船市況は、年度初めの主要4航路平均用船料率が日額1万1千ドル台から始まり、その後6月上旬には7千ドルを下回りましたが、南米穀物の輸送需要が高まったことに加え、中国の石炭輸入が堅調に推移したことなどから、9月は1万ドル台まで回復しました。このような状況下、国内電力・一般産業の主要顧客向け契約獲得や支配船隊の効率配船に注力した結果、当初の計画を達成することが出来ました。

■ ハンディー型撒積船

ハンディー型撒積船市況は、旺盛な荷動きに支えられ8月より太平洋・大西洋両水域とも回復し、総じて想定を上回る水準で推移しました。往航主力貨物は、北米向け鋼材がアンチダンピング措置の影響を受けるなか、堅調な中米向け鋼材を中心に効率配船を徹底したことにより一定の収益を確保しました。また、復航主力貨物においても、南米西岸積み非鉄鉱石の長期契約および北米積み穀物などの既存貨物を活用した効率配船により一定の収益を確保し、当初の計画を達成することが出来ました。

■ 近海水域における小型船

近海水域における小型船は、主力貨物である日本積み中国向け鋼材輸出は、自動車産業向けが堅調に

平成29年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	2隻	225,318重量トン (K/T)
内航	0隻	0重量トン (K/T)

平成29年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	5隻	872,600重量トン (K/T)
内航	3隻	37,127重量トン (K/T)

推移したものの、その他産業向けの輸送量が減少しました。このような状況下、効率運航の徹底を図りましたが、当初の計画を達成することが出来ませんでした。

■ 油送船

タンカー市況は、VLCC（大型原油タンカー）が夏場の需要減退期を迎えたことに加え、VLGC（大型LPG運搬船）も新造船の供給圧力に苦しみなど、総じて低調に推移しました。このような状況下、所有船を定期用船契約で固定することにより市況変動の影響を受けにくい構造とし、収益の安定化を図りましたが、一部契約において市況低迷の影響を回避しきれず、当初の計画を達成することが出来ませんでした。一方で、当社シンガポール子会社NS UNITED TANKER PTE. LTD.における外航ケミカルタンカー事業につきましては、安全・効率運航およびコスト削減に努めたことにより、当初の計画を達成することが出来ました。

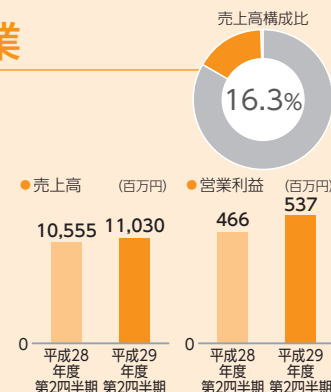
内航海運事業

■ 売上高

110億30百万円
(前期比 4.5%増)

■ 営業利益

5億37百万円
(前期比 15.2%増)



■ 内航船

ドライ貨物につきましては、鉄鋼関連貨物のうち、石灰石専用船が荒天の影響を受けましたが、一般原料船のスポット輸送が増加したことに加え、製造業・建設業において鋼材需要が高まったため、輸送量は総じて堅調に推移しました。また、セメント関連貨物は国内出荷の回復がみられ、前年同期を上回る水準で推移するなど、総じて安定した輸送量を確保し、当初の計画を達成することが出来ました。

タンカーにつきましては、LNG輸送は、電化・省エネ化の進展により需要が低迷し、北海道航路では道内ガス田の好調な湧出量を受け転送需要が減少したため、輸送量が想定を下回りました。LPG輸送は、民生用は需要減退期を迎え、工業用も内需低迷等の影響を受けるなか、全体として荷動きは低迷しましたが、新規輸送契約の獲得により安定した輸送量を確保し、当初の計画を達成することが出来ました。

トピックス

小学生向けの新造船見学会を実施

平成29年10月24日、日本船主協会殿との共催で、伊万里港開港50周年記念事業のプレイベントとして、建造中の当社大型撒積貨物船(本年12月竣工予定)の見学会を実施しました。当日は、地元小学校の5、6年生を中心に約50名を招待し、本船内操舵室、船長室、機関室、甲板等をご案内しました。同行した当社船長の話に興味深く耳を傾け、熱心に質問をする子供たちの姿が見られ、我が国の暮らしと産業を支える海運への親しみと理解を深めていただきました。

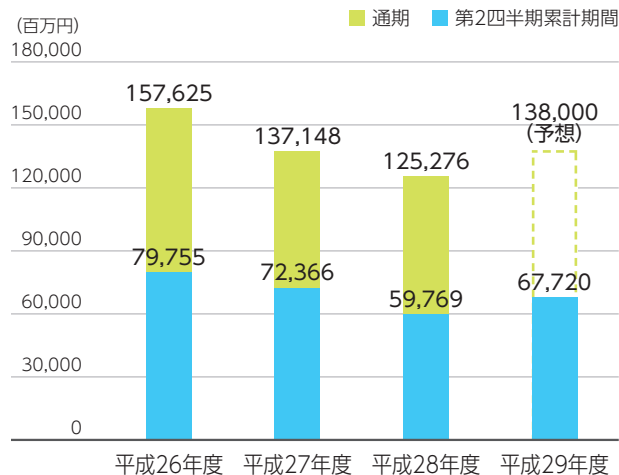


「きぼう」人命救助

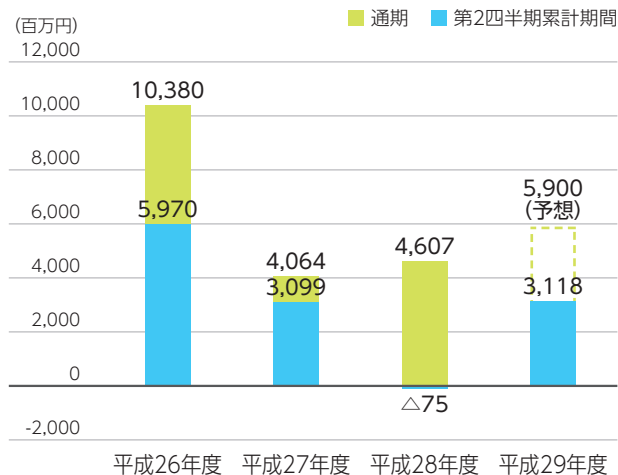
当社グループのNSユナイテッド内航(株)社船「きぼう」が、平成29年5月9日午前10時半ごろ、岩手県の八木港沖合を航行中、転覆しているプレジャーボートと救助を求める男性を発見、岡田船長は八戸海上保安部に通報するとともに、男性を無事救助しました。この人命救助活動に対し、6月14日に八戸海上保安部で表彰式がおこなわれ、同保安部の山地部長から本船乗組員を代表して岡田船長が感謝状を受け取りました。

連結財務ハイライト

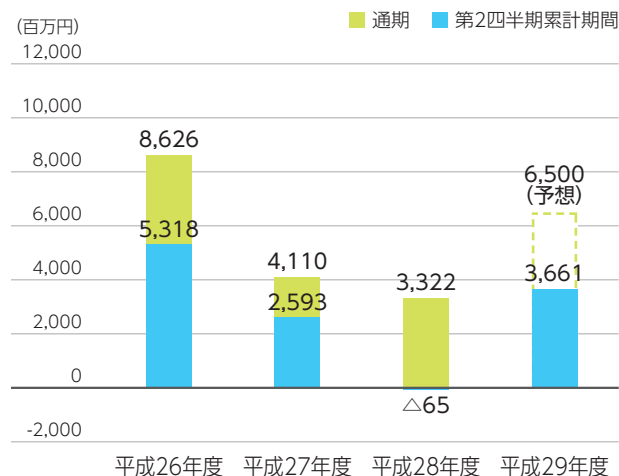
売上高



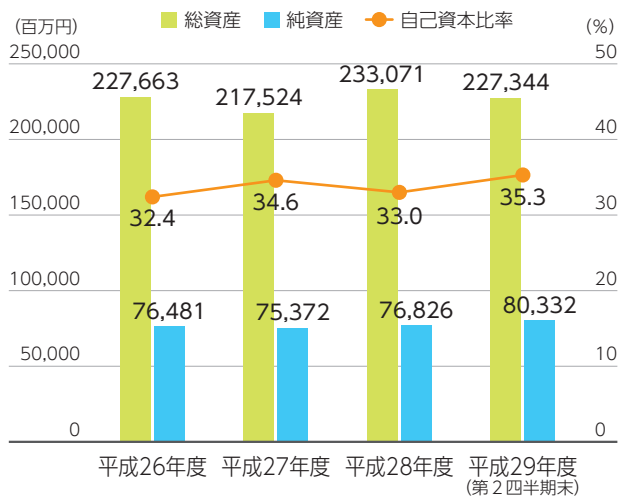
経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



総資産・純資産・自己資本比率



連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）（第2四半期連結累計期間）（単位：百万円）

	科 目	前第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
Point 1	1 売 上 高	59,769	67,720
	売 上 原 価	54,525	61,048
	売 上 総 利 益	5,244	6,672
	一 般 管 理 費	2,885	2,840
	営 業 利 益	2,359	3,832
	営 業 外 収 益	160	242
Point 2	2 営 業 外 費 用	2,594	956
	経常利益又は経常損失（△）	△75	3,118
Point 3	3 特 別 利 益	37	745
	特 別 損 失	57	293
	税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△95	3,570
	法人税等	△27	△89
	四半期純利益又は四半期純損失（△）	△68	3,659
	非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3	△3
	親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△65	3,661

Point 1 売上高

+7,950百万円

市況が堅調に推移したこと、及び円安の影響により売上高が増加しました。

Point 2 営業外費用

△1,639百万円

円安と期中の為替レートの変動幅が前期より小さかったため、為替差損益が前年同期比18億68百万円改善しました。

Point 3 特別利益

+708百万円

船舶売却益700百万円を特別利益に計上しました。

第2四半期連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

科 目	前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
資産の部		
流動資産	54,373	53,194
固定資産	178,698	174,151
資産合計	233,071	227,344
負債の部		
流動負債	35,928	34,921
固定負債	120,317	112,092
負債合計	156,245	147,013
純資産の部		
株主資本	77,028	79,746
その他の包括利益累計額	△219	570
非支配株主持分	17	16
純資産合計	76,826	80,332
負債純資産合計	233,071	227,344

Point 4 固定資産

△4,547百万円

船舶の売却と減価償却等により船舶が8,609百万円減少した一方、建設仮勘定は3,616百万円増加したことが要因です。

Point 5 純資産

+3,506百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益3,661百万円を計上したことが要因です。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,880	8,920
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,734	△2,555
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,822	△7,926
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△267	△28
現金及び現金同等物の 増減額	△943	△1,589
現金及び現金同等物の 期首残高	24,035	26,485
現金及び現金同等物の 四半期末残高	23,092	24,896

Point 6 投資活動による
キャッシュ・フロー
+3,179百万円(支出減)

船舶の売却による収入
3,784百万円が要因です。

Point 7 財務活動による
キャッシュ・フロー
△4,104百万円(支出増)

長期借入れによる収入と返済による差引により、4,679百万円の支出増加となったことが要因です。

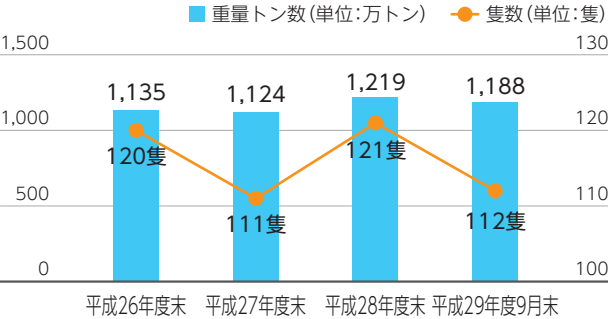
会社の概要 (平成29年 9月30日現在)

設立年月日 昭和25年4月1日
主要な事業内容 外航貨物海上運送事業およびこれに関連または付帯する事業
資本の額 10,300,000,000円
上場取引所 東京（市場第一部）
本社 〒100-8108
東京都千代田区大手町一丁目5番1号
Tel (03) 6895-6400（番号案内席）
駐在員事務所 上海、ベトナム
海外法人従業員数 英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン
陸上183名、海上42名 計225名
（出向者を含みます）
運航船腹量（単体） 112隻（11,876,754重量トン）

役員
取締役および監査役
代表取締役社長・
社長執行役員 小 畠 徹
取締役・
専務執行役員 左 光 真 啓
取締役・
常務執行役員 矢 口 新
取締役・
常務執行役員 小山田 充 宏
取締役・
執行役員 石 川 寛 二
取締役(社外) 谷 水 一 雄
取締役(社外) 木 村 眞 人
取締役
(社外・独立) 木 下 雅 之
取締役
(社外・独立) 大 西 節
常勤監査役(社外) 野 口 政 明
監査役
(社外・独立) 三 谷 康 人
監査役(社外) 千 原 圭 三

執行役員
常務執行役員 峯 村 保 広
常務執行役員 中 田 義 文
執行役員 福 田 和 志
執行役員 宮 井 成 彦
執行役員 吉 川 誠
執行役員 藤 田 透
執行役員 阿諏訪 直 樹

船腹量の推移（重量トン）



株式の状況
発行済み株式の総数 239,706,793株
株主数 7,538名（単元未満株主も含みます）
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
新日鐵住金株式会社	78,612	33.36
日本郵船株式会社	43,247	18.35
株式会社みずほ銀行	7,989	3.39
東京海上日動火災保険株式会社	7,417	3.15
三菱重工業株式会社	5,400	2.29
新健海運股份有限公司	5,048	2.14
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,896	2.08
三井住友海上火災保険株式会社	4,133	1.75
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,336	1.42
GOVERNMENT OF NORWAY	2,687	1.14

(注) 当社は自己株式4,028千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
(注) 出資比率は自己株式（4,028千株）を控除して計算しております。

主要なグループ会社
NSユニテッド内航海運株式会社 内 航 海 運 業
NSユニテッドタンカー株式会社 内 航 海 運 業
NSユニテッドマリンサービス株式会社 安全監督・新造船建造監督業
船員派遣事業
NSユニテッドビジネス株式会社 経 理 業 務 受 託
NSユニテッドシステム株式会社 情報システムの開発・保守業
NS UNITED TANKER PTE. LTD. 外 航 海 運 業

NS ユナイテッド海運グループ

企業理念

I 基本理念

NSユニテッド海運グループは、誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

II 経営理念

1 (信用・信頼)

信用・信頼される堅実な経営を実践し、グループ全体の企業価値を高めます。

2 (安全運航・環境保全)

常に船舶の安全運航に努めるとともに船舶運航技術の向上に向け日々研鑽を積むことにより海洋をはじめとする地球環境保全の一翼を担います。

3 (お客様への即応・自己変革)

お客様の要請に即応しつつ自らも変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。

4 (人を育て活かす)

人を育て活かし、働く喜びを実感できる活力溢れるグループを築きます。

III 企業行動規範

- 1 法令・規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
- 2 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 3 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示するとともに各種情報の保護・管理を徹底します。
- 4 安全・健康で働きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の人格と多様性を尊重します。
- 5 社会の一員として、積極的に地域・社会に貢献します。
- 6 反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。
- 7 各国・地域の法律を遵守し、各種の国際規範、文化、慣習等を尊重して事業を行います。
- 8 本規範を遵守し、その確実な実行に向けた体制を確立するとともに、本規範に违背する事態が発生した時は、迅速に原因究明と再発防止に努め、的確に説明責任を果たします。

平成25年10月1日

NS ユナイテッド海運グループ

環境方針

- 1 私たちは、世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努め行動します。
- 2 私たちは、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努め、汚染の予防に努めます。
- 3 私たちは、船舶の運航及び事務所内活動において適用される環境の法規制及びその他の要求事項を順守します。
- 4 私たちは、各部門において環境方針に適合した環境目的および環境目標を設定し、実施計画に従って目的及び目標の達成に努めます。また環境目的と目標を確実に達成するために、定期的に達成度のレビューを行います。
- 5 私たちは、環境教育・広報活動などにより、NSユニテッド海運グループのために働くすべての人が環境問題に対する意識を高め、本環境方針に基づき、行動するように努めます。
- 6 私たちは、私たちのサービス提供に必要な船舶、機器類、その他の製品および資材の環境負荷の低減を考慮した調達に努めます。
- 7 私たちは、NSユニテッド海運グループ全体で、省エネルギー、省資源の推進を図ると共に、廃棄物の削減及びその適正な処分に努めます。
- 8 私たちは、環境方針及び環境保全活動を必要に応じ公表します。

平成23年6月28日

NSユニテッド海運株式会社
代表取締役社長

小島徹

株主メモ

決算期日 3月31日 **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
期末配当金支払株主確定日 3月31日
(中間配当金支払株主確定日 9月30日) **同事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会開催日 6月下旬
本店証券代行部
同総会権利行使株主確定日 3月31日

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		 フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

基準日 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。
単元株式数 100株 (平成29年9月27日より取引所における売買単位が変更となっております)
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.nsuship.co.jp/>
(ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます。)
証券コード 9110
ホームページアドレス <http://www.nsuship.co.jp/> (決算情報などがご覧になれます。)

【単元株式数の変更および株式併合に関するお知らせ】

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数の変更 (1,000株から100株に変更) および株式併合 (10株を1株に併合) を行いました。
詳細は、当社ホームページに記載しております、平成29年3月30日付プレスリリース「単元株式数の変更及び株式の併合並びにこれらに伴う定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。
URL: <http://www.nsuship.co.jp/news/pdf/2017/20170330.pdf>

【単元未満株式に関するお知らせ】

100株に満たない株式 (単元未満株式) を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元 (100株) になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を、平成22年10月1日より導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】
<http://www.nsuship.co.jp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しております。



NS ユナイテッド海運株式会社

〒100-8108 東京都千代田区大町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー
TEL 03-6895-6400